

環境活動レポート

2023

(2023年2月～2024年1月)



株式会社フライトワン

目次

1 事業活動の概要	… 1
2 当社許可内容	… 2～13
3 処理工程図	… 14～15
4 2023年度処理の状況	… 16
5 環境方針	… 17
6 推進体制とその役割	… 18
7 2023年度の取り組み報告	… 19 ～ 28
8 今後の具体的な取り組み	… 29
9 環境関連法規の違反、 訴訟の有無	… 30 ～ 31
10 代表者の見直しと評価	… 32
11 フライトワンの環境関連活動	… 33 ～ 38
[まさご通信]	… 39

経営理念

【基本理念】

当社は環境保護の取組を最重要課題と認識し、資源循環型社会の実現に向け、廃棄物処理を透明度の高い一つの産業として、RPFを核としたリサイクルの推進と、私たちがもっと豊かで安全に暮らせる社会環境に貢献する為、「地球から借りたものはやさしいカタチで返したい」を基本理念とし産業廃棄物処理事業を通じて地球環境のためにできることを実行して行きたいと思います。

【考え方】

1.生成発展すること。

個人の損得でなく人(社会)に役立つことを考え、生成発展すること。

2.経営の「見える化」。

創業時より人、物、金、日々の経営の中で最大限生かす「ガラス張り経営」を実践。

3.人材育成。

人も会社も公器であるという考えで社員を大事に育て、奉仕と貢献する存在であり続けること。

4.共存共栄。

委託先、お得意先、同業者、地域社会といった関係先(ステークホルダー)と調和を保ちつつ共存共栄していくことが大切。

5.真のサービス。

お客様に安心、安全、満足を提供し、選ばれるフライトワンであり続けること。

すなわち、お客様に感謝し誠心誠意尽くし、お客様に対するサービスを義務として、喜んで頂ける真のサービスを提供する。

1. 事業活動の概要

- (1)会社名及び代表者名 株式会社フライトワン
代表取締役 齋藤睦美
- (2)環境保全関係の責任者 環境管理責任者 田中佳治
- (3)所在地 栃木県足利市真砂町41番地
代表TEL 0284-40-3090
- (4)事業活動 産業廃棄物の収集運搬ならびに
リサイクル及び中間処理
- (5)事業の規模 法人設立年月日：平成12年2月17日
資本金：1,000万円

活動規模の推移	活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	処理量	m ³	293,146	305,245	300,677
	売上高	百万円	4,173	4,551	4,724
	従業員	人	131	128	137
	床面積	m ²	9,737	10,722	10,722



2. 当社許可内容

(1) 産業廃棄物収集運搬業及び処分量の許可内容

許可一覧表

都道府県・市	許可番号	許可年月日	許可期限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	特 管			一般	
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	19号廃棄物	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	可燃ごみ
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00910068641	R6.04.12	R13.04.11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	群馬県	01000068641	R6.05.11	R13.05.10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	埼玉県	01104068641	R2.06.18	R7.04.10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	茨城県	00801068641	R2.06.16	R7.04.25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	東京都	第13-00-068641	R3.12.25	R8.12.24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	神奈川県	01403068641	R4.04.21	R9.01.09	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	千葉県	01200068641	R4.01.16	R9.01.15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	宮城県	00400068641	R3.06.15	R8.06.14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	福島県	00707068641	R3.03.15	R8.03.14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	山形県	00609068641	R3.05.26	R8.05.25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
	長野県	2009068641	R3.06.06	R8.06.05	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
岩手県	00800068641	R6.05.20	R11.05.19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
新潟県	01509068641	R6.06.25	R11.06.24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
産業廃棄物処分量	栃木県	00920068641	R3.01.15	R10.01.14						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
	破砕									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
	焼却									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
	圧縮梱包									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
	混合					●	●									●	●			●							
	圧縮固化									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
一般廃棄物	（収集・運搬業）																										
	太田市	35	R5.06.01	R7.05.31																							
	足利市	足利市指合生か 第170号	R6.03.01	R8.02.28																							
足利市	（破砕・焼却・圧縮固化） 足利市指合生か 第171号	R6.03.17	R8.03.16						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							

(2) 積替・保管施設

- (1) 設置場所 : 栃木県足利市真砂町40-1 他
- (2) 面積 : 4,955.73m²
- (3) 設置年月日 : 平成13年11月16日
- (4) 保管能力 :

〔積替保管を含む〕

廃棄物種別	面積	容量	高さ
廃プラスチック類	19.20m ²	19,200m ³	1.00m
ゴムくず	19.20m ²	19,200m ³	1.00m
金属くず	19.20m ²	19,200m ³	1.00m
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	19.20m ²	19,200m ³	1.00m
がれき類	19.20m ²	19,200m ³	1.00m
燃え殻	15.00m ²	22,500m ³	1.50m
汚泥	15.00m ²	22,500m ³	1.50m
鉱さい	6.84m ²	8,100m ³	1.20m
汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず （いずれも水銀使用製品産業廃棄物に限る）	5.40m ²	3,000m ³	0.90m

(3) 保有車両

2024年1月末日現在の保有車両は以下の通りです。

車種	台数	車種	台数
大型アームロール車	8台	4 t コンテナ車	17台
大型ダンプ車	1台	3 t ユニック車	11台
大型ユニック車	1台	2 t コンテナ車	11台
大型ウイング車	2台	営業用車両 (ハイブリッド車)	10台
4 t ウイング車	1台	軽トラック	1台
4 t パッカー車	1台	軽バン	1台

(4) 産業廃棄物処分量／処理能力

1. 事業の範囲

事業の区分 (中間処理)

処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類
破碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
焼却	紙くず、木くず、繊維くず
圧縮梱包	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず
混合	燃え殻、汚泥、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、ばいじん
選別	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
圧縮固化	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず

2. 事業の用に供するすべての施設

[F2工場]

(1) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成12(2000)年3月14日
③許可年月日 : 平成13(2001)年11月13日 許可番号 : 24
④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	107.52㎡	13.44㎡	
がれき類	107.52㎡	13.44㎡	

(2) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 令和6(2024)年1月10日
③許可年月日 : 平成19(2007)年10月25日 許可番号 : 18-1
④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	68.5t	6.85t	

紙くず	68.5t	6.85t	
木くず	125.7t	12.57t	
繊維くず	64.7t	6.47t	
ゴムくず	60t	6t	
金属くず	42.8t	4.28t	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	251.4t	25.14t	
がれき類	161.8t	16.18t	

(3) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
 ②設置年月日 : 平成26(2014)年1月28日
 ③許可年月日 : 平成25(2013)年7月3日 許可番号 : 219-1
 ④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	51.8t	5.18t	
紙くず	68.6t	6.86t	
木くず	77.7t	7.77t	
繊維くず	34.7t	3.47t	
ゴムくず	76.9t	7.69t	
金属くず	68.4t	6.84t	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	121.1t	12.11t	
がれき類	109.5t	10.95t	

(4) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
 ②設置年月日 : 平成22(2010)年5月24日
 ③許可年月日 : 平成25(2013)年7月3日 許可番号 : 219-1
 ④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	72.9t	7.29t	
紙くず	99.8t	9.98t	
木くず	105.1t	10.51t	
繊維くず	47.4t	4.74t	
ゴムくず	103.5t	10.35t	
金属くず	81t	8.1t	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	121.5t	12.15t	
がれき類	129.7t	12.97t	

(5) 焼却施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
 ②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日
 ③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
紙くず	1.5t	0.15t	
木くず	1.5t	0.15t	
繊維くず	1.5t	0.15t	

(6) 圧縮梱包施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日
③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	279.6t	23.3t	
紙くず	201.6t	16.8t	
繊維くず	223.2t	18.6t	
ゴムくず	559.2t	46.6t	

(7) 混合施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日
③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
燃え殻	33.6㎡	4.2㎡	
汚泥	33.6㎡	4.2㎡	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	33.6㎡	4.2㎡	
鋳さい	33.6㎡	4.2㎡	
ばいじん	33.6㎡	4.2㎡	

(8) 圧縮固化施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成18(2006)年2月23日
③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	30t	3t	
紙くず	30t	3t	
木くず	30t	3t	
繊維くず	30t	3t	

(9) 圧縮固化施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成29(2017)年1月24日
③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	30t	3t	
紙くず	30t	3t	
木くず	30t	3t	
繊維くず	30t	3t	

(10) 選別施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他
②設置年月日 : 平成22(2010)年3月11日
③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	360㎡	30㎡	
紙くず	360㎡	30㎡	
木くず	360㎡	30㎡	
繊維くず	360㎡	30㎡	
ゴムくず	360㎡	30㎡	
金属くず	360㎡	30㎡	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	360㎡	30㎡	
がれき類	360㎡	30㎡	

(1 1) 保管施設（破碎処理前）

①設置場所： 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日： 平成13（2001）年11月16日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ28台]	191.52㎡	226.8㎡	1.2m
紙くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
木くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(1 2) 保管施設（焼却処理前）

①設置場所： 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日： 平成13（2001）年11月16日

種類	面積	容量	高さ
紙くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
木くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
繊維くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(1 3) 保管施設（混合処理前）

①設置場所： 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日： 平成13（2001）年11月16日

種類	面積	容量	高さ
燃え殻[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
汚泥[4tコンテナ3台]	20.52㎡	24.3㎡	1.2m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
鋳さい[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
ばいじん[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(1 4) 保管施設（圧縮梱包処理前）

①設置場所： 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日： 平成13（2001）年11月16日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類[4tコンテナ7台]	47.88㎡	56.7㎡	1.2m
紙くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
繊維くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
ゴムくず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(15) 保管施設 (破碎処理前)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成17(2005)年5月20日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類	130㎡	151.5㎡	2.5m
繊維くず[4tコンテナ2台]	13.68㎡	16.2㎡	1.2m

(16) 保管施設 (破碎処理前)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成25(2013)年9月30日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ100台]	684㎡	810㎡	1.2m
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[10tコンテナ8台]	108.56㎡	172.8㎡	1.8m

(17) 保管施設 (処理前)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 令和2(2020)年5月15日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(破碎(選別後も含む))[梱包物149個]	398.7㎡	1,263.9㎡	3.3m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(選別)[4tコンテナ15台]	102.6㎡	121.5㎡	1.2m

(18) 保管施設 (破碎処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	136.5㎡	352.37㎡	4m
紙くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
木くず[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(19) 保管施設 (焼却処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日

種類	面積	容量	高さ
燃え殻[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m

(20) 保管施設 (混合処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成13(2001)年11月16日

種類	面積	容量	高さ
燃え殻、汚泥、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、銼さい、ばいじん	21㎡	31.5㎡	1.5m

(21) 保管施設 (破碎処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成17(2005)年5月20日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類[10tコンテナ1台]	13.57㎡	21.6㎡	1.6m
廃プラスチック類[4tコンテナ8台]	54.72㎡	64.8㎡	1.2m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず[4tコンテナ6台]	41.04㎡	48.6㎡	1.2m
繊維くず[4tコンテナ2台]	13.68㎡	16.2㎡	1.2m

(22) 保管施設 (破碎処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成25(2013)年9月30日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[梱包物488個]	300.76㎡	536.8㎡	3.3m

(23) 保管施設 (圧縮梱包処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 平成29(2017)年10月17日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず[梱包物180個]	45㎡	198㎡	4.4m

(24) 保管施設 (圧縮梱包処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 令和元(2019)年5月22日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず[梱包物140個]	35㎡	154㎡	4.4m

(25) 保管施設 (選別処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町40番1 他

②設置年月日 : 令和2(2020)年5月15日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ1台]	6.84㎡	8.1㎡	1.2m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず[4tコンテナ3台]	20.52㎡	24.3㎡	1.2m
がれき類[4tコンテナ4台]	27.36㎡	32.4㎡	1.2m
金属くず	38.59㎡	52.11㎡	1.54m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず[梱包物488個]	300.76㎡	536.8㎡	3.3m

[F3工場]

(1) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他
 ②設置年月日 : 令和5(2023)年5月8日
 ③許可年月日 : 平成23(2011)年2月4日 許可番号 : 219-2
 ④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	164.4t	6.85t	
紙くず	164.4t	6.85t	
木くず	301.68t	12.57t	
繊維くず	155.28t	6.47t	
ゴムくず	144t	6t	
金属くず	102.72t	4.28t	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	603.36t	25.14t	
がれき類	388.32t	16.18t	

(2) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他
 ②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日
 ③許可年月日 : 平成23(2011)年2月4日 許可番号 : 219-2
 ④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	131.52t	5.48t	
紙くず	163.92t	6.83t	
木くず	186t	7.75t	
繊維くず	158.16t	6.59t	
ゴムくず	184.56t	7.69t	
金属くず	143.28t	5.97t	
がれき類	246.72t	10.28t	

(3) 破碎施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他
 ②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日
 ③許可年月日 : 平成23(2011)年2月4日 許可番号 : 219-2
 ④処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	101.76t	4.24t	
紙くず	135.84t	5.66t	
木くず	152.88t	6.37t	
繊維くず	67.92t	2.83t	
ゴムくず	152.88t	6.37t	
金属くず	135.84t	5.66t	
がれき類	203.76t	8.49t	

(4) 圧縮固化施設

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他

②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日

③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
鹿プラスチック類	72t	3t	
紙くず	72t	3t	
木くず	72t	3t	
繊維くず	72t	3t	

(5) 圧縮固化施設

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他

②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日

③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
鹿プラスチック類	72t	3t	
紙くず	72t	3t	
木くず	72t	3t	
繊維くず	72t	3t	

(6) 保管施設(破砕処理前)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他

②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日

種類	面積	容量	高さ
鹿プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	416.47㎡	1,908.64㎡	6m
鹿プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ37台]	253.08㎡	299.7㎡	1.2m
木くず[4tコンテナ8台]	54.72㎡	64.8㎡	1.2m
繊維くず[4tコンテナ6台]	41.04㎡	48.6㎡	1.2m
紙くず[4tコンテナ6台]	41.04㎡	48.6㎡	1.2m

(7) 保管施設(破砕処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他

②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日

種類	面積	容量	高さ
鹿プラスチック類[10tコンテナ2台]	27.14㎡	48.8㎡	1.8m
鹿プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[10tコンテナ2台]	27.14㎡	48.8㎡	1.8m

(8) 保管施設(圧縮固化処理後)

①設置場所 : 栃木県足利市真砂町44番 他

②設置年月日 : 平成20(2008)年1月31日

種類	面積	容量	高さ
鹿プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	75㎡	174.66㎡	3m

[F4工場]

(1) 選別施設

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町51番 他
- ②設置年月日 : 令和2(2020)年12月25日
- ③処理能力 :

取り扱う産業廃棄物	/日	/時	備考
廃プラスチック類	1,680㎡	70㎡	
紙くず	1,680㎡	70㎡	
木くず	1,680㎡	70㎡	
繊維くず	1,680㎡	70㎡	
ゴムくず	1,680㎡	70㎡	
金属くず	1,680㎡	70㎡	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,680㎡	70㎡	
がれき類	1,680㎡	70㎡	

(2) 保管施設(選別処理前)

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町51番 他
- ②設置年月日 : 令和2(2020)年12月25日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ14台]	95.76㎡	113.4㎡	1.2m
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ12台]	82.08㎡	97.2㎡	1.2m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ27台]	184.68㎡	218.7㎡	1.2m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ24台]	164.16㎡	194.4㎡	1.2m

(3) 保管施設(選別処理後)

- ①設置場所 : 栃木県足利市真砂町51番 他
- ②設置年月日 : 令和2(2020)年12月25日

種類	面積	容量	高さ
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ1台]	6.8㎡	8.1㎡	1.2m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	19.5㎡	30.2㎡	1.8m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	19.5㎡	44.5㎡	2.95m
金属くず	19.5㎡	32.9㎡	1.99m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	19.5㎡	44.5㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	19.5㎡	44.5㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	24.7㎡	56.3㎡	2.95m
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	23.4㎡	53.4㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	19.5㎡	44.5㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず	23.4㎡	53.4㎡	2.95m

廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	24.7㎡	56.3㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	24.7㎡	56.3㎡	2.95m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	24.7㎡	36.5㎡	1.7m
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず[4tコンテナ9台]	61.56㎡	72.9㎡	1.2m
廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類[4tコンテナ9台]	61.56㎡	72.9㎡	1.2m

(4) 保管施設（選別処理後）

- ①設置場所：栃木県足利市真砂町51番 他
 ②設置年月日：令和3（2021）年5月20日

種類	面積	容量	高さ
金属くず	54㎡	135㎡	3m

3. 一般廃棄物収集運搬業及び処理業の許可内容

(1) 足利市

①一般廃棄物収集運搬業

足利市指令生ク第170号	
住 所	足利市真砂町41番地
氏 名	株式会社フライトワン 代表取締役 齋藤睦美
許 可 の 年 月 日	令和6年 3月 1日
許 可 の 有 効 期 限	令和8年 2月28日
事 業 の 範 囲	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの収集運搬
許可の条件 1 一般廃棄物(ごみ)の処理を業として行うことのできる区域は、足利市の行政区域内とする。 2 収集後の一般廃棄物(ごみ)は、南部クリーンセンターに運搬すること。なお、運搬する過程での積換えをしないこと。 3 南部クリーンセンターに搬入の際は、一般廃棄物処理業務報告書を所長に提出すること。 4 一般廃棄物(ごみ)は、可燃ごみ、不燃ごみに分別し、所長の指示により搬入すること。 5 収集運搬に供する許可車両は、別紙のとおりとする。	

収集運搬に供する許可車両			
登録番号	最大積載量	車体の形状	初年度登録
とちぎ 830 さ 53	2.00t	普通特種 塵芥車	平成21年 2月
とちぎ 430 ち 205	2.00t	普通貨物 脱着装置付コンテナ専用車	平成27年 6月
とちぎ 430 せ 209	2.00t	小型貨物 脱着装置付コンテナ専用車	令和 3年 9月
とちぎ 430 と 210	2.00t	小型貨物 脱着装置付コンテナ専用車	令和 3年 9月
とちぎ 130 た 503	3.65t	普通貨物 脱着装置付コンテナ専用車	令和 5年 4月

②一般廃棄物処理業

足利市指令生ク第171号	
住 所	栃木県足利市真砂町41番地
氏 名	株式会社フライトワン 代表取締役 齋藤睦美
許 可 の 年 月 日	令和6年 3月17日
許 可 の 有 効 期 限	令和8年 3月16日
事 業 の 範 囲	一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)の処分業
許可の条件 1 一般廃棄物(ごみ)の処理を業として行うことのできる施設は申請された破碎施設、焼却施設、圧縮固化施設に限る。 2 破碎施設において取り扱う一般廃棄物(ごみ)は「廃プラスチック類・がれき類・木くず」に限る。 3 焼却施設において取り扱う一般廃棄物(ごみ)は「木くず・紙くず・繊維くず(1.5t/日以下)」に限る。(1時間当たりの処理能力が200kg未満及び火格子面積が2平方メートル未満) 4 圧縮固化施設において取り扱う一般廃棄物(ごみ)は「廃プラスチック類・木くず」に限る。	

(2) 太田市

①一般廃棄物収集運搬業

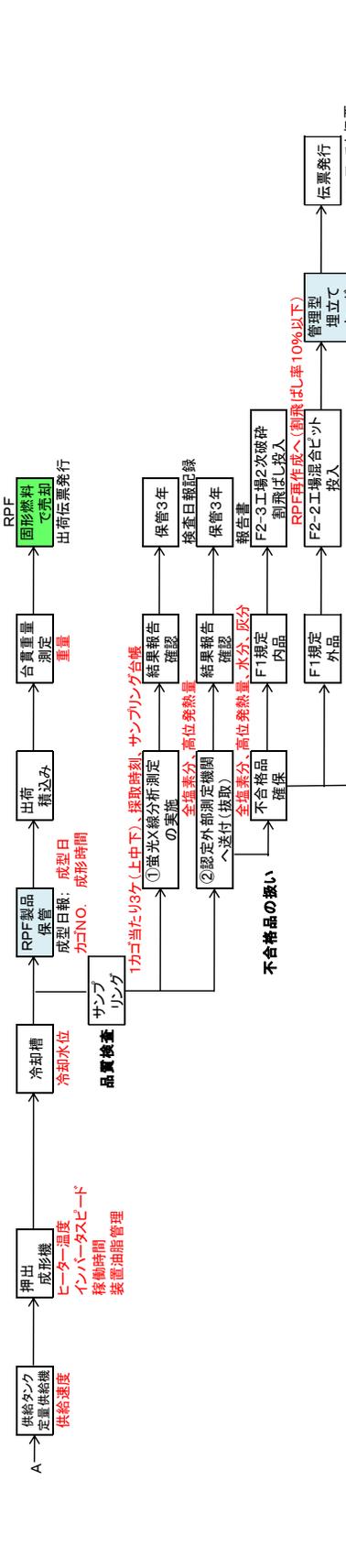
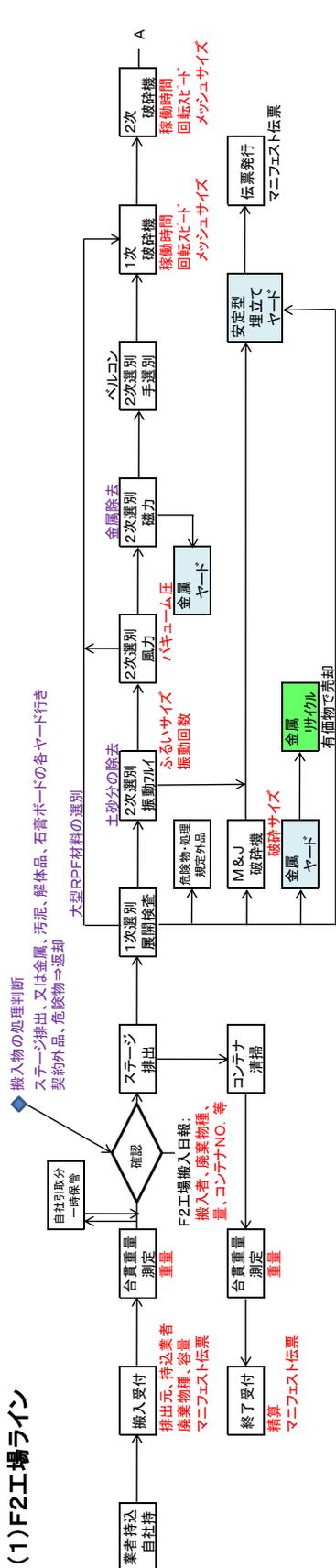
許 可 番 号	35
氏 名 又 は 名 称	株式会社フライトワン
住 所 及 び 代 表 者 氏 名	足利市真砂町41番地 代表取締役 齋藤睦美
営 業 所 の 所 在 地	足利市真砂町41番地
一 般 廃 棄 物 の 種 別	ごみ
新 規 又 は 更 新 の 区 分	更新
許 可 の 有 効 期 間	令和5年6月1日から令和7年5月31日まで
許 可 の 条 件	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに太田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び同施行規則を遵守すること。 ・業の区分については収集、運搬(積替え及び保管を除く)に限る。

3. 処理工程図

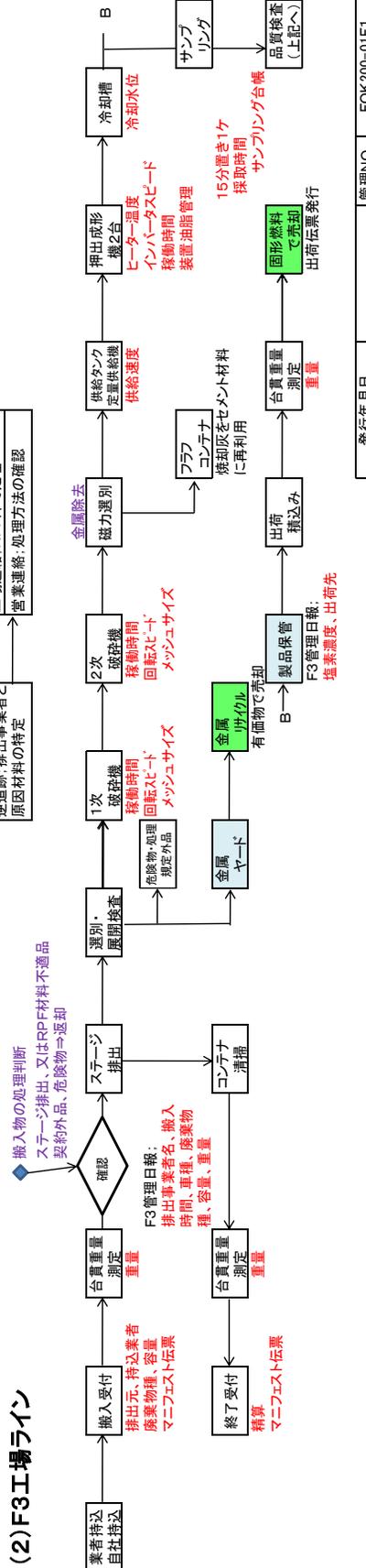
RPF製造工程フローと管理項目

※赤字は管理項目又は確認項目

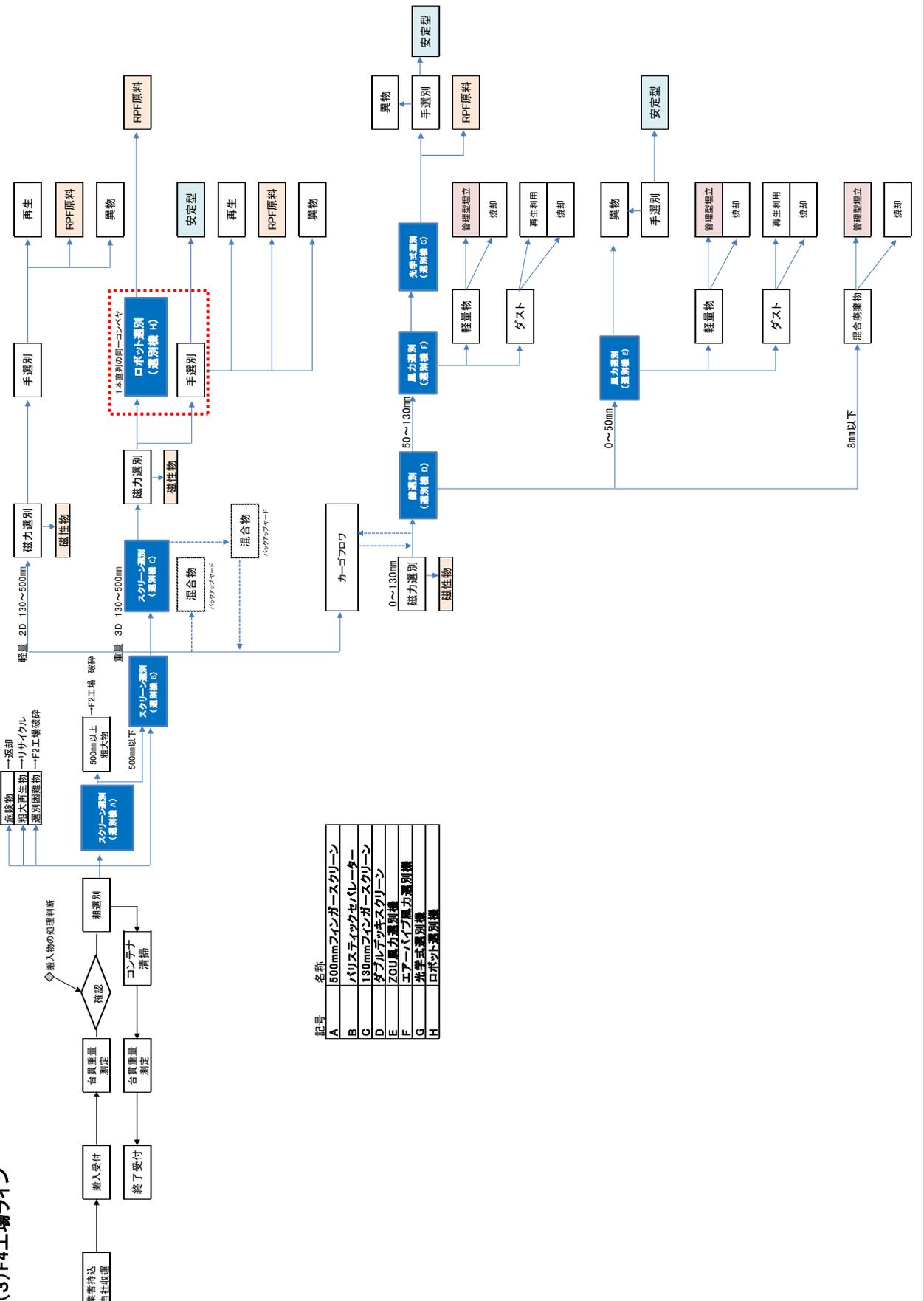
(1) F2工場ライン



(2) F3工場ライン



(3) F4工場ライン



記号	名称
A	500mmフィンガン-スクリーン
B	パリスフェイスセパレーター
C	130mmフィンガン-スクリーン
D	ダブルデッキスクリーン
E	ZOU風力選別機
F	エア-バインド風力選別機
G	光学式選別機
H	ロボット選別機

4. 2023年度処理の状況 (2023年2月から2024年1月までの集計)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(m ³)
収集運搬	廃プラスチック類		66,842
	ガラス陶磁器くず		7,794
	石膏ボード		8,221
	がれき類		2,287
	金属くず		1,243
	木くず		26,100
	繊維くず		1,388
	紙くず		21,045
	汚泥		516
	燃えがら		184
	廃油		0
	ばいじん		0
	鉱さい		18
	動植物性残渣		3
	安定型混合廃棄物		278
管理型混合廃棄物		2,879	
収集運搬量合計			138,798
中間処理	廃プラスチック類	圧縮梱包・圧縮固化・破砕	183,181
	ガラス陶磁器くず	混合・破砕	14,882
	石膏ボード	混合・破砕	12,216
	がれき類	破砕	5,433
	金属くず	破砕	2,200
	木くず	圧縮固化・破砕	32,283
	繊維くず	圧縮固化・破砕	21,322
	紙くず	圧縮固化・破砕	25,610
	汚泥	混合	689
	燃えがら	混合	2,186
	鉱さい	混合	675
	うち再資源化等	廃プラスチック類	破砕 熱回収(RPF)
木くず		破砕 熱回収(RPF)	32,244
繊維くず		破砕 熱回収(RPF)	21,322
紙くず		破砕 熱回収(RPF)	25,542
ガラス陶磁器くず		破砕	4,228
石膏ボード		破砕	6,636
がれき類		破砕	2,057
金属くず		有価	2,162
鉱さい		固形化	159
再資源化等量小計			248,853
中間処理合計			300,677
中間処理後の産業廃棄物	廃プラスチック類	(安定型最終処分場【委託】)	18,701
	廃プラスチック類	(管理型最終処分場【委託】)	373
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(安定型最終処分場【委託】)	6,557
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(管理型最終処分場【委託】)	664
	石膏ボード	(管理型最終処分場【委託】)	3,897
	がれき類	(安定型最終処分場【委託】)	2,077
	がれき類	(管理型最終処分場【委託】)	147
	金属くず	(安定型最終処分場【委託】)	22
	金属くず	(管理型最終処分場【委託】)	4
	木くず	(管理型最終処分場【委託】)	30
	繊維くず	(管理型最終処分場【委託】)	1
	紙くず	(管理型最終処分場【委託】)	42
	ばいじん	(管理型最終処分場【委託】)	0
	鉱さい	(管理型最終処分場【委託】)	464
	汚泥	(管理型最終処分場【委託】)	631
	燃えがら	(管理型最終処分場【委託】)	1,969
	RPF	(再生利用【売却】)	70,144
	廃プラスチック類	(再生利用【熱回収】)	3,127
	金属くず	(再生利用【売却】)	1,513
	紙くず	再生利用	1,249
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	再生利用	2,009	
石膏ボード	再生利用	3,763	
がれき類	再生利用	1,077	
木くず	チップ化	1,260	
鉱さい	再生利用	115	
再資源化等量小計		85,257	
中間処理後処分量合計			119,836

5. 環境方針

理念

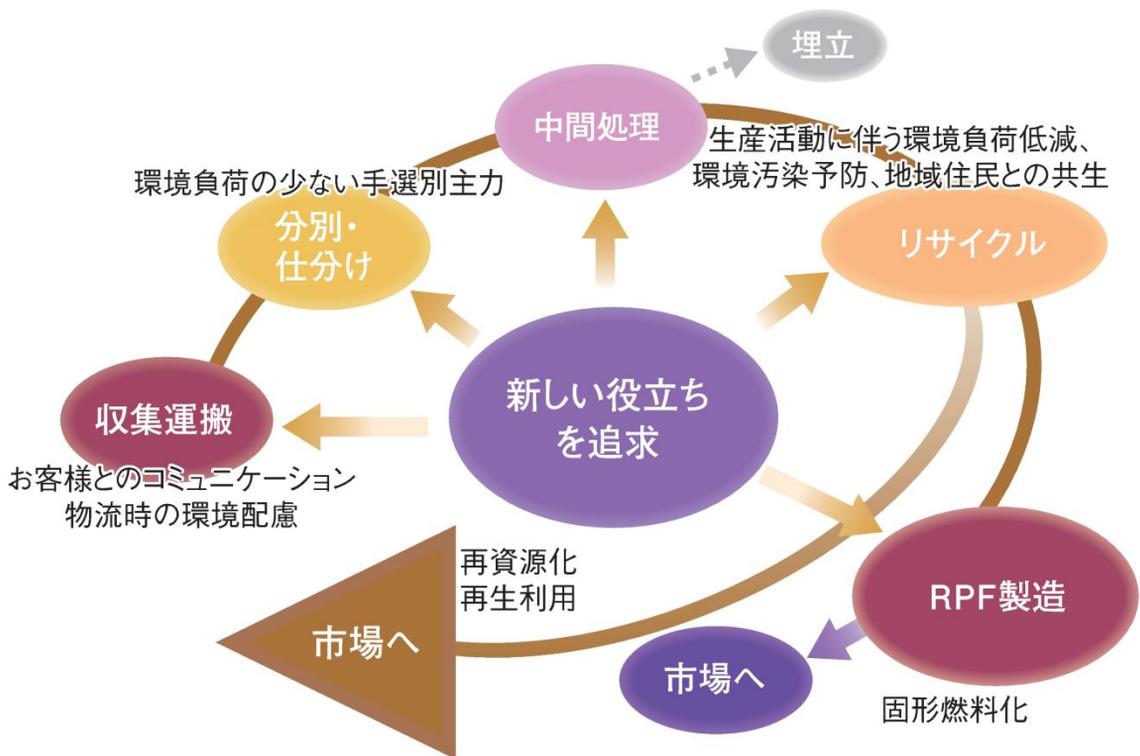
フライトワンは、産業廃棄物処理と再資源化で、地球環境との共生を果たし、持続的発展が可能な快適で健康な社会の実現に貢献します。

行動指針

私たちフライトワンは、次世代をつなぐ豊かで安心安全に暮らせる生活環境とリサイクル（「地球から借りたものはやさしいカタチで返したい」）で、新しい役立ちを追究します。

産業廃棄物処理事業に於いて、環境への負荷を減少させつつ、リサイクル率を高める活動に取り組みます。

その為、環境マネジメントシステム・EA21の改善を図りながら、持続的発展が可能な社会の実現に向けて全社員が行動します。



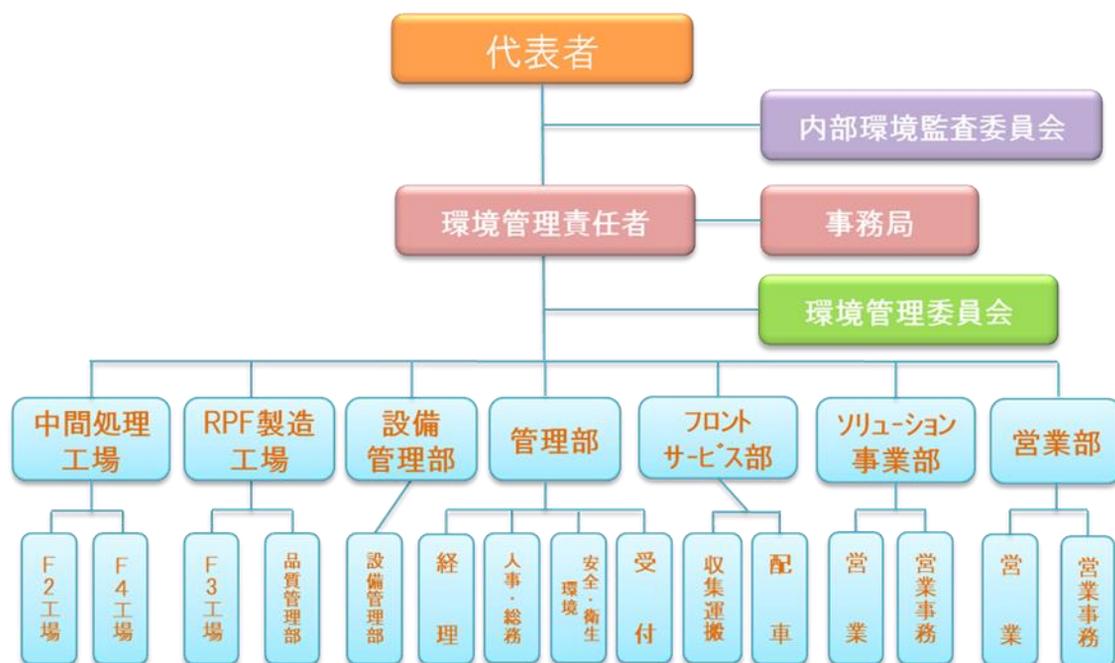
1. 環境方針の実現のため環境目的、目標を定めて推進します。
2. 環境関連法規制並びに関連する環境配慮事項を遵守します。
3. 環境に関する教育や啓発活動に努めます。
4. 環境に関する情報開示に努めます。

この環境方針は全社員に周知すると共に一般に公開します。

2006年2月1日
株式会社フライトワン

齋藤睦美

6. EA21推進体制とその役割



組織名	責任者	その役割
代表者	当社社長	環境経営システムの推進に必要な要因、技術、専門的な技能、資金等の準備。 また環境システムの見直しを実施し、当システムが有効であるために必要な改善に努める。環境管理責任者、及び届出が必要な特定業務について、従事者の任命及び届出を行う。
環境管理責任者	代表者より任命された者	代表者の補佐、代表者不在時の業務の代行。環境目標、計画や達成状況の把握、組織の見直しのとりまとめ。環境経営システム監査の計画・実施・是正処置の指示及び承認。代表者への活動状況報告に必要な情報収集の指示。代表者の見直しのための不適合を含む改善の実績等の代表者への報告。
中間処理工場 RPF製造工場	工場長	分別によるリサイクル推進、破砕機等の点検の励行などによる有効稼働の推進、RPF生産推進。
フロントサービス部	部門責任者	始業点検の励行、アイドルストップ、急停止・急発進の禁止による二酸化炭素排出の抑制。セーフティレコーダー管理やタイヤ空気圧・溝チェックによる省エネ推進。散水等での上水使用量の削減。
管理部	部門責任者	エアコン温度設定管理、照明等の節電、不要コピーの削減、自社廃棄物排出量の削減。
営業部 ソリューション事業部	部門責任者	工場見学者受入推進、取引先紹介キャンペーン・訪問ワンモア作戦による新規口座開発。
環境管理委員会	各部門責任者と事務局	各部門長が環境管理委員を兼任し、年4回の環境管理委員会にて環境目標の達成状況などを報告・検討しています。
事務局	代表者より任命された者	活動の記録の管理など。
内部環境監査委員会	代表者より任命された者	環境マネジメントシステムの要求事項に適合し、目標達成のために適切に実践されているか、業務プロセスが環境基準の遵守に効果的に運営・維持されているかを確認するために内部監査を実施する。

※当社は、全ての事業活動、全ての組織を認証登録対象範囲としています。

7. 2023年度の取り組み報告

1)環境への負荷チェック・とりまとめ		単位	2021年	2022年	2023年	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	4,793,499	5,029,049	4,923,224	
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	m ³	143,845	143,870	138,798	
	中間処理量	m ³	293,146	305,245	300,677	
	(うち再資源化等量)	m ³	242,906	254,480	248,853	
	最終処分量	m ³	0	0	0	
	中間処理後の産廃の処分量	m ³	133,913	119,971	119,837	
	(うち再資源化等量)	m ³	92,292	85,457	84,258	
③廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	単純焼却	m ³	11.2	11.5	13.8
		最終処分量	m ³	0	0	0
	産業廃棄物	中間処理後の処分量	m ³	133,913	119,971	119,837
		うち再資源化等量	m ³	92,292	85,457	84,258
		最終処分量	m ³	41,621	34,514	35,579
④-1 総排水量	公共用水域	m ³	0	0	0	
	下水道	m ³	11,047	5,742	5,695	
④-2 水使用量	上水	m ³	14,477	7,790	6,742	
	工業用水	m ³	0	0	0	
	地下水	m ³	16,546	16,351	16,411	
⑤化学物質使用量	エチルベンゼン、キシレン他	kg	172	270	269	
⑥エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	66,731,004	68,956,015	67,782,686	
	化石燃料	MJ	26,588,544	28,586,582	27,744,656	
	新エネルギー	MJ	0	0	0	
	その他	MJ	0	0	0	
⑦物質使用量	資源投入量	m ³	50,240	50,765	51,710	
	循環資源投入量	m ³	242,905	254,480	248,967	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t	0	0	0	
	水の利用量	m ³	0	0	0	

2)環境目標と達成状況

環境目標	測定項目	2022年度実績	2023年度目標	実績	達成率%	評価 達成:○ 未達成:×
二酸化炭素排出量の削減 2022年度比 1%削減	RPF生産量 1,000t当たりの 二酸化炭素 排出量	141,971 kg-CO2	140,550 kg-CO2	146,425 kg-CO2	95.8%	×
上水使用量削減 2022年度比 1%削減	RPF生産量 1,000t当たり 上水使用量	212m ³	210m ³	194m ³	107.6%	○
自社廃棄物発生量の削減 2022年度比 1%削減	自社廃棄物 発生量 総量(m ³ /年)	11.53m ³	11.42m ³	13.78m ³	79.3%	×
産業廃棄物 全受入量に対する 最終処分率の削減 16.5%以下	全受入量に対する 最終処分率(%)	16.6%	16.5%以下	11.8%	128.5%	○
化学物質使用量 使用量を減少する 年間使用量 260kg以下	年間総使用量	270.41kg	260kg以下	269kg	96.5%	×
RPF生産量の推進 年間生産量34,770t 日産平均/123.3t	年間生産量	37,123t	34,770t	35,111t	101.0%	○
工場見学者の 受入推進 年/190社、370人	年間来場社 来場者数	187社 (368人)	190社 (370人)	189社 (420人)	108.8%	○

※取り組みについて

- ・環境目標は数値化して評価しました。
- ・二酸化炭素及び上水使用量の削減は、RPF生産量1,000t当たりで目標値を設定しています。

3) 推進項目別に見た達成状況

環境目標 削減及び推進項目			2022年度	2023年度				
			実績	目標値		実績	達成率	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	購入電力量 kwh	7,014,854	6,944,705	※注1 2022年生産量比 1%削減	6,895,492	100.7%	
		CO2排出量 Kg-CO2	3,099,134	3,062,615		3,041,947		
	社有車の 経済的運転	ガソリン使用量 ℓ	24,862	24,613	※注1 2022年生産量比 1%削減	23,257	105.5%	
		CO2排出量 Kg-CO2	57,680	57,102		53,956		
		軽油使用量 ℓ	507,130	502,059		492,500	101.9%	
		CO2排出量 Kg-CO2	1,308,395	1,295,312		1,270,650		
	重機・ フォークリフトの 経済的運転	ガソリン使用量 ℓ	800	792	※注1 2022年生産量比 1%削減	1,200	48.5%	
		CO2排出量 Kg-CO2	1,856	1,837		2,784		
		軽油使用量 ℓ	216,544	214,379		213,445	100.4%	
		CO2排出量 Kg-CO2	558,684	553,098		550,688		
	LPガス 使用量の削減	ガス使用量 kg	693	686	※注1 2022年生産量比 1%削減	598	112.8%	
		CO2排出量 Kg-CO2	2,079	2,058		1,794		
	の 削減 水量	上水使用量の削減	m ³	7,790	7,712	※注2 2022年生産量比 1%削減	6,742	112.6%
	量 の 削減 排出	最終処分の削減	最終処分率 %	16.6	16.5	全受入量に対する割合	11.8	128.5%
自社廃棄物の削減		廃棄物排出量 m ³	11.53	11.42	2022年度比 1%削減	13.78	79.3%	
減量質化 の使学 削用物	化学物質使用量	kg	270.41	260		269	96.5%	
推進 の	RPF固形燃料の生産増	年間生産量 t	37,123	34,770		35,111	101.0%	
工場見学社(者)の受入推進	見学社数		187	190		189	108.8%	
	見学者数		368	370		420		

※注1、※注2 RPF 2022年度生産量比に対する削減の推進で排出量及び使用量を目標にしています。
 ※電力使用量削減:CO2排出量は2019年8月公表の算定係数(0.441kg-CO2/kwh)で計算してあります。

4)環境活動計画の取り組み結果と評価

■環境目標「二酸化炭素排出量削減」

電力使用量を低減し、二酸化炭素排出量を削減する。

□実施事項

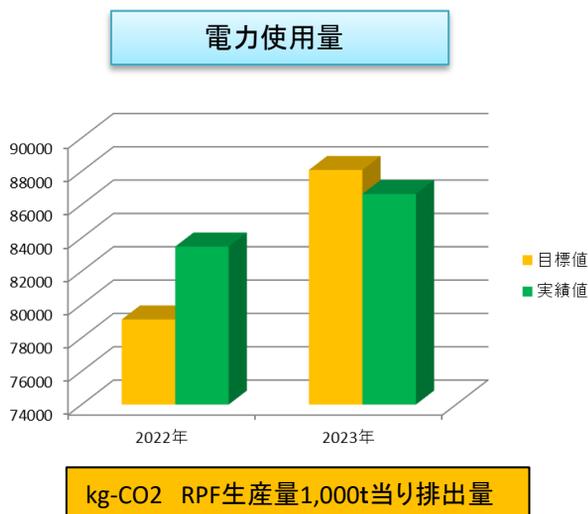
- ①破砕機、RPF成形機の定期点検を行い、効率的な運転をする。
- ②破砕機への過剰投入、空運転を防止する。
- ③未使用時の消灯を管理する。(電灯、PCディスプレイ等)
- ④エアコンの温度管理を行い、適正に運用する。(冬季22℃以下 夏季28℃以上)
- ⑤工場の照明を無電極ランプへと変更しました。

□取り組み結果と評価

設備管理部による計画的な定期点検の実施、破砕機への有効投入についてオペレーター教育の実施等で大きな成果が出ています。

今後も工場、管理部門一体となって削減に向けて取り組んでいきます。

電力使用量	目標・実績対比
目標値	6,944,705kwh
CO2排出量	3,062,615kg-CO2
(RPF 1,000t当り)	88,080kg-CO2
実績値	6,895,492kwh
CO2排出量	3,041,947kg-CO2
(RPF 1,000t当り)	86,638kg-CO2
達成率(RPF 1,000t当り)	101.6%



バーノ破砕機



RPF成型機

■環境目標「二酸化炭素排出量削減」

社有車の経済的運転及び、年数の経過している運送車両を燃費の改善された新車両に入れ替えて、二酸化炭素排出量を削減する。

□実施事項

- ①アイドリングストップを徹底する。
- ②急発進・急加速・急停止を禁止する。
- ③車両点検整備を徹底する。
- ④給油量の管理を行う。
- ⑤セーフティレコーダ管理を行い省エネ運転を進める。
- ⑥タイヤ空気圧を適正に保持する。
- ⑦脱着式装置付きコンテナ車(大型車)2台、(4t車)2台、積載型トラッククレーン車(3tユニック車)2台を平成27年度燃費基準5%向上達成車に投資して入替えました。営業車も新型プリウスに6台入れ替えました。
- ⑧全ての車両にドライブレコーダーを装着して、事故やヒヤリハットをドライバー全員で確認して事故撲滅を目指しています。



□取り組み結果と評価

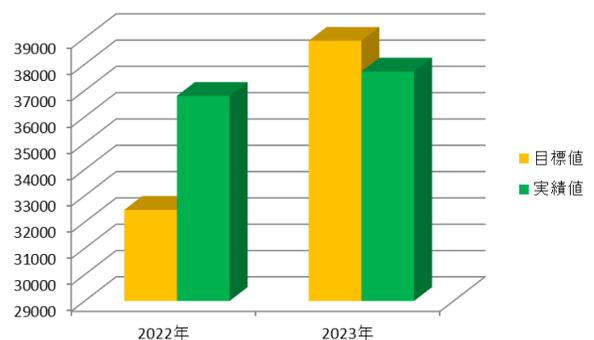
- ①ガソリンは営業用車両が主体となって使用しておりますが、今期売上目標の達成に向けて営業範囲の拡大を積極的に行ったことで走行距離も伸びました。
- ②軽油は収集・運搬車両が主体となって使用しておりますが、営業活動の成果でお客様エリアが拡大され、長距離走行も頻繁となりました。今後も効率的な配車指示と経済的な運転に心掛け使用量を削減していきます。

デジタル配車表で管理



平成27年度燃費基準5%向上達成車

化石燃料使用量



化石燃料 目標・実績対比(ガソリン・軽油)	
目標値	526,672ℓ
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	1,352,414kg-CO2 38,895kg-CO2
実績値	515,757ℓ
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	1,324,606kg-CO2 37,726kg-CO2
達成率 (RPF 1,000t当り)	103.0%

kg-CO2 RPF生産量1,000t当り排出量

■環境目標「二酸化炭素排出量削減」

重機、フォークリフト、ローダーの省エネ運転の徹底と、年数の経過した重機2台を新車に入れ替えにより二酸化炭素排出量を削減する。

□実施事項

トヨタL&Fの情報に基づき、下記の省エネ運転を徹底する。

- ①加速・速度を控えて運転する。
- ②ペダル踏みっぱなし運転をやめる。
- ③停車時はエンジン停止をする。
- ④ムダな空ふかしは止める。
- ⑤作業前にタイヤの空気圧をきちんとチェックする。
- ⑥定期的にエアクリーナーのエレメントを清掃または交換する。

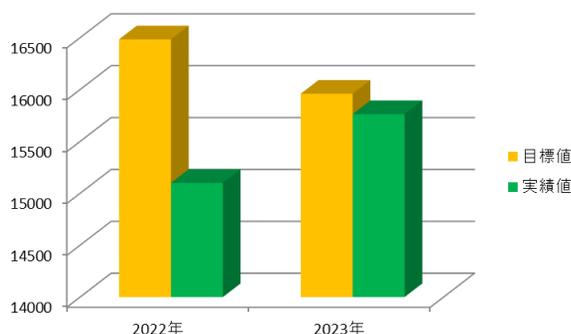


□取り組み結果と評価

工場の運転手全員に上記の6ポイントの省エネ運転を徹底してもらい、10%以上の燃費節約＝CO2削減が出来たと思います。この省エネ運転モードは安全運転や排気ガス対策にもなり、今後もさらに継続していきたいと思います。

化石燃料	目標・実績対比(ガソリン・軽油)
目標値	215,171ℓ
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	554,935kg-CO2 15,960kg-CO2
実績値	214,645ℓ
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	553,472kg-CO2 15,763kg-CO2
達成率(RPF 1,000t当り)	101.2%

化石燃料使用量



kg-CO2 RPF生産量1,000t当り排出量

■環境目標「二酸化炭素排出量削減」

LPガス給湯器の有効利用により二酸化炭素排出量を削減する。

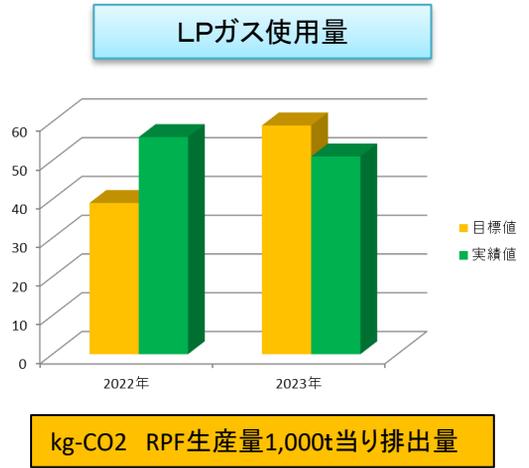
□実施事項

温水蛇口の開閉をこまめに行い不要な燃焼をなくす。

□取り組み結果と評価

LPガスの使用は社員食堂と現場作業者の手洗い及び洗顔用が主体となっております。不要なガス給湯器の燃焼をなくすために、水道水の使用時は蛇口をこまめに開閉しよう、水道水の温度設定は出来る限り低く抑えよう、活動を継続して行っております。手洗い場に、「節水ヨシ！」「温度設定ヨシ！」のステッカーを貼り削減に取り組んでいます。

LPガス使用量	目標・実績対比
目標値	686kg
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	2,058kg-CO2 59kg-CO2
実績値	598kg
CO2排出量 (RPF 1,000t当り)	1,794kg-CO2 51kg-CO2
達成率(RPF 1,000t当り)	113.6%



■環境目標「総排水量削減」
上水使用量を削減する。

□実施事項

- ①水道の蛇口をこまめに開閉し節水に努める。
- ②水道管の漏水調査を定期的実施する。
- ③防塵装置はホコリの発生状況を見定めて運転をする。
- ④構内清掃をこまめに行い、散水回数を少なくする。
- ⑤洗車はスピーディーに効率よく行う。
- ⑥雨水を有効利用する。
- ⑦エコソープ消臭システム及びRPF冷却槽の管理を徹底する。

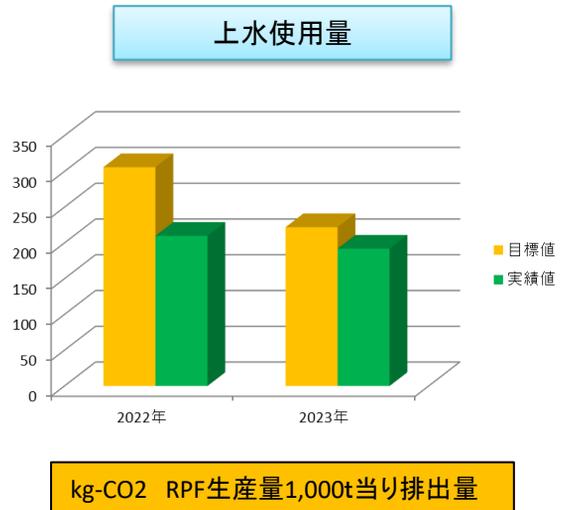


【消臭対策 2012年増設】
エコソープ消臭システム

□取り組み結果と評価

上水の使用はRPF(固形燃料)の消臭剤の噴霧及び発火防止対策として冷却槽での使用が主となっています。2012年よりエコソープ消臭システムを導入しましたが、今期も更なる作業環境の向上と、工場周辺への異臭対策として消臭設備を稼働しました。RPFを製造した時に出る水蒸気を冷やす取り組みを始めましたが、井水を使用するようになり、上水の使用量は大幅に削減することが出来ました。

上水使用量	目標・実績対比
目標値	7,712m ³
(RPF 1,000t当り)	222m ³
実績値	6,742m ³
(RPF 1,000t当り)	192m ³
達成率(RPF 1,000t当り)	113.5%



異臭対策:RPF品質管理部員が1日3回近隣を巡回し、異臭調査と消臭効果の確認を実施しております。

■環境目標「自社廃棄物発生量削減」

自社廃棄物の排出量を削減する。

□実施事項

- ①ミスコピーの把握及び裏紙をメモ用紙として活用する。
- ②プロジェクター使用によるペーパーレス化を進める。
- ③資源ごみの分別を徹底する。

□取り組み結果と評価

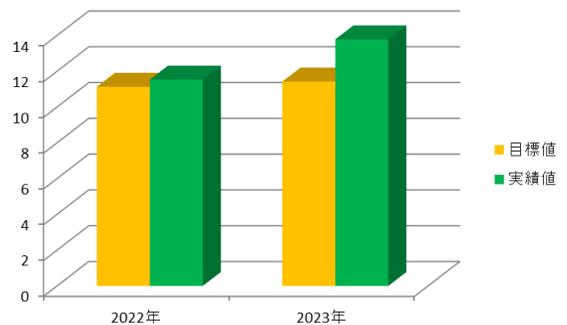
事務所及び社員食堂から排出される紙類、現場作業で消耗した手袋、防塵マスク、安全靴等の削減について取り組んできました。

- ①事務所では排出される紙類を毎日計量記録し、活動の評価を行っています。また飲料水のペットボトル、空缶、空瓶については自動販売機設置業者が回収しておりますが、担当者が分別を確認し活動の評価を行いました。
- ②現場作業では安全衛生の強化により安全保護具の貸与基準を緩和しております。またユニフォームについては「きれいな作業服を着用しよう」運動で、貸与基準を緩和したことで廃棄が増えました。(安全保護具、ユニフォームは貸与＝自社廃棄物として評価しております)

自社廃棄物発生量 目標・実績対比

目標値	11.42m ³ /年
実績値	13.78m ³ /年
達成率	79.3%

自社廃棄物排出量



■環境目標「産業廃棄物最終処分の削減」

リサイクル率を上げ、最終処分率を削減する。

□実施事項

- ①1次、2次選別ステージで分別を徹底する。
- ②最終処分産業廃棄物は破砕、圧縮等して減量する。
- ③RPF(固形燃料)の増産を進める。

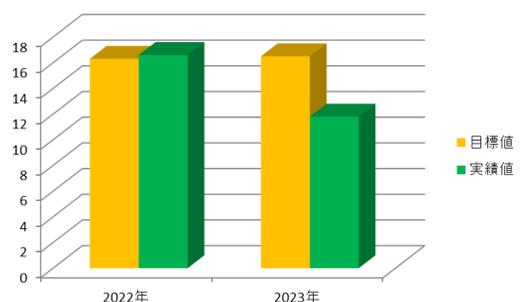
□取り組み結果と評価

お客様に安心、安全、コンプライアンスの満足提供は当然のこと、企業、事業所から排出される産業廃棄物を徹底分別し、可燃物についてはRPF(固形燃料)としてリサイクル化を推進し、再資源化による循環型社会への形成に貢献することが出来たと思います。今後もリサイクル推進会社として、資源の有効活用を進めていきます。

産業廃棄物発生量 実績

廃棄物処理量	300,677m ³ (100%)
リサイクル量	194,953m ³ (64.9%)
RPF生産量	70,144m ³ (23.3%)
最終処分量(安定型)	27,357m ³ (9.1%)
最終処分量(管理型)	8,222m ³ (2.7%)
達成率	128.5%

最終処分量比率



■環境目標「工場見学社・者の受入推進」

営業活動において、新規顧客・同業他社問わず広く見学社・者の受入を推進する。

□実施事項

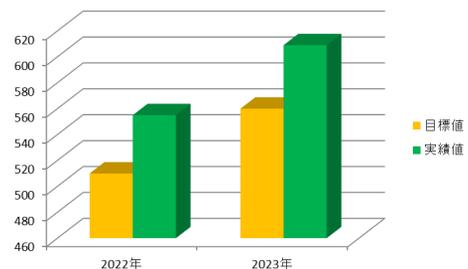
- ①工場見学社・者の受入を推進する。
- ②紹介キャンペーンを推進する。
- ③訪問件数：ワンモア作戦を推進する。
- ④新規口座開設（開発）を推進する。

□取り組み結果と評価

工場見学者の受入推進については、11月に海外から日本企業の工場見学もあり、目標達成出来ました。新工場の選別ラインを見られる方も増えています。

工場見学社・者 目標・実績	
目標値	
工場見学社	190社
工場見学者	370人
実績値	
工場見学社	189社
工場見学者	420人

見学者「人数」



■環境目標「化学物質使用量の削減」

コンテナ及び設備増強による使用量の増加を削減する。

□実施事項

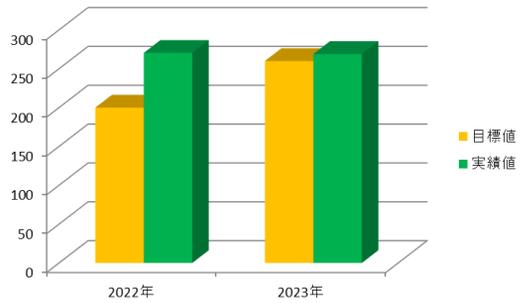
- ①フタル酸系塗料を水性塗料に変更してVOCの発生を抑制する。
- ②水性系の接着剤の導入を進めVOCの抑制を図る。

□取り組み結果と評価

塗料の使用は廃棄物収集・運搬コンテナの修理用としての使用が主体となっております。今期も積極的な営業活動の成果でお客様が増えましたので、コンテナを増台すると同時に、少しでも綺麗なコンテナをお客様現場に届けることを会社方針として修理を進めたことで使用量が増えました。フタル酸系の塗料に関しては見積もりを取り、徐々に無鉛化の塗料に変更し始めました。今後も環境負荷の低減に努めていきます。

化学物質使用量 目標・実績対比	
目標値	260.0kg/年
実績値	269.0kg/年
達成率	96.5%

化学物質使用量



コンテナ台数	
1. 5m ³	1, 600台
4m ³	700台
8m ³	850台
20m ³	13台
25m ³	23台
30m ³	1台
36m ³	7台



塗装・錆落し作業



コンテナ再塗装後

当社では3, 200台弱のコンテナを保有していますが、その殆どはお客様の現場に設置しております。しかし、長期間使用しますと金属の劣化と塗装剥れが生じ、耐久性が落ち、廃棄物が破損場所から漏れ落ちる危険性があります。このためコンテナのメンテナンスは重要な工程となっております。

■環境目標「RPF生産量の推進」

□実施事項

RPF(Refuse Paper & Plastic Fuel) 生産量の推進 日量123. 3t 年間34, 770t

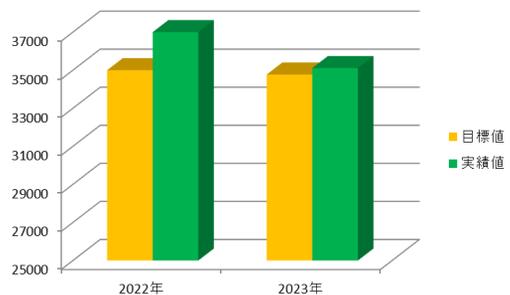
□取り組み結果と評価

今期のRPFの生産量は、当社のRPFに対する考え方や取り組む姿勢、徹底した品質管理によりユーザーからの信用がリサイクルを望むお客様に信頼され、RPFの原料となる廃棄物の搬入量が大幅に増加、それに対応するべく生産時間も延長したことで増産することが出来ました。

当社が、RPFを生産することによって、一般炭との比較では削減量35, 111t、CO2削減量は23, 400tとなります。平成18年3月経済産業省、環境省令第3号「算定方法、排出係数一覧」より算出

RPF生産量 目標・実績対比	
目標値	34, 770t/年
実績値	35, 111t/年
達成率	101. 0%

RPF生産量



蛍光エックス線 分析計

8. 今後の具体的な取り組み

1) 中期環境目標			
中期目標	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1. 二酸化炭素排出量を2025年までに2022年RPF生産量1,000tあたりの排出量比3%削減する 142,000→137,740kg-CO2	対2022年度比 1%削減 削減量 1,420kg-CO2	対2022年度比 2%削減 削減量 2,840kg-CO2	対2022年度比 3%削減 削減量 4,260kg-CO2
2. 上水使用量を2025年までに2022年RPF生産量1,000tあたりの使用量比3%削減する 2,540m ³ → 2,464m ³	対2022年度比 1%削減 削減量 25.0m ³	対2022年度比 2%削減 削減量 51.0m ³	対2022年度比 3%削減 削減量 76.0m ³
3. 自社廃棄物発生量を2025年までに2022年比3%削減する 11.53m ³ → 11.18m ³	対2022年度比 1%削減 削減量 0.12m ³ /年	対2022年度比 2%削減 削減量 0.23m ³ /年	対2022年度比 3%削減 削減量 0.35m ³ /年
4. 産業廃棄物最終処分率を2025年までに全受入量の14.3%以下とする 2022年度 16.6% → 16.1%	産業廃棄物の全受入量に対し最終処分率16.5%以下とする。	産業廃棄物の全受入量に対し最終処分率16.3%以下とする。	産業廃棄物の全受入量に対し最終処分率16.1%以下とする。
5. 化学物質使用量 設備増強による使用量の増加を抑制する 2022年度 270kg → 260kg以下	年間使用量 260kg以下	年間使用量 260kg以下	年間使用量 260kg以下
6. RPF生産量の推進 2025年までに年間生産量を 2022年度 37,123t→35,500tにする	年間生産量 34,770t	年間生産量 35,000t	年間生産量 35,500t
7. 工場見学社・者の受入推進 2025年までに 年間/210社、390人以上 見学社・者を受入れる	190社 370人 月/16社 31人	200社 380人 月/17社 32人	210社 390人 月/18社 33人

2) 2023年度環境活動計画		
	管理及び実施事項	推進部署
二酸化炭素 排出量の削減 (化石燃料)	①車両、重機、フォークの始業点検の励行	フロントサービス部
	②アイドルストップの励行	
	③急停止、急発進の禁止	
	④給油量の管理	
	⑤セーフティーレコーダー管理による省エネ	
	⑥タイヤ空気圧チェック、溝測定による省エネ	
二酸化炭素 排出量の削減(電力量)	⑦破砕機、成形機の始業点検の励行	設備管理部・製造部
	⑧工場電力不要時の負荷遮断	
	⑨エアコンの温度設定管理(冬22℃、夏28℃)	
上水使用量の削減	⑩事務所内の照明等の節電	管理部
	⑪防塵装置の不要運転の禁止	製造部
	⑫構内清掃による散水量の減少	製造部
自社廃棄物の削減	⑬スピーディーな車両洗車	フロントサービス部
	⑭分別の徹底	全員活動
埋立・焼却率の削減	⑮不要コピーの削減	管理部
	⑯分別によるリサイクルの推進	製造部
化学物質使用量の削減	⑰破砕機の有効稼働	設備管理部
RPF生産量の推進	⑱コンテナの破損防止	製造部
工場見学社(者)数の受入推進	⑲RPF生産量の推進 日/123.3t	製造部
	⑳見学社・者数の受入推進 月/16社・31人	営業部

■ 当社の事業年度は2月から翌年の1月までです。

9. 環境関連法規制の違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用される主な法規制の遵守事項

関連法・規制	内容	確認日	遵守状況
循環型社会形成推進基本法	資源の再利用等を促進するための法律	3/3	遵守
工場立地法	一定規模の工場を設置する場合の周囲環境維持のための法律	3/3	遵守
大気汚染防止法	大気汚染に関わる法律	3/3	既施設の届出完了、遵守
水質汚濁防止法	河川・湖沼・海域等の水質汚濁に関わる法律	3/3	遵守
土壌汚染防止法	有害物質による土壌汚染に関わる法律	3/3	遵守
騒音規制法	騒音による周囲環境への影響防止に関する法律	3/3	年1回測定・4/18 実施
振動規制法	振動による周囲環境への影響防止に関する法律	3/3	年1回測定・4/18 実施
地球温暖化対策の推進に関する法律	二酸化炭素排出抑制、地球温暖化対策に関わる法律	3/3	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	廃棄物処理の適正化推進のための法律	3/3	各届出完了、遵守
消防法	火災発生防止のための法律	3/3	遵守
危険物に関する政令		3/3	届出完了、遵守
悪臭防止法	悪臭の拡散による周囲環境への影響に対する法律	3/3	遵守
家電リサイクル法	特定家電製品のリサイクル促進に関する法律	3/3	遵守
栃木県生活環境の保全に関する条例	栃木県により定められた、環境関連法の上乗せ基準等	3/3	届出完了、遵守
下水道法	水質汚濁に関わる法律	3/3	遵守
環境基本法	環境負荷の低減、環境保全の基本の法律	3/3	ダイオキシン特措法が該当、遵守
ダイオキシン類特別措置法	ダイオキシン類の排出基準、規制等に関する法律	3/3	届出完了、遵守
自動車NOx・PM法	大都市を対策地域として定めた大気汚染の法律	3/3	遵守
道路交通法	安全運転管理の責任の明確化と事故防止に関する法律(安全運転管理者制度)	3/3	届出完了、遵守
道路運送車両法	自動車の安全確保を図る法律(整備管理者)	3/3	届出完了、遵守
労働安全衛生法	労働者の安全と健康を守る法律	3/3	届出完了、遵守
建設リサイクル法	資源の有効な利用と廃棄物の適正処理を図る法律	3/3	遵守
公害防止組織法	組織的に公害の防止に取り組む法律	3/3	遵守
PRTR法	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律	3/3	届出完了、遵守
資源有効利用促進法	資源の有効な利用の促進に関する法律	3/3	遵守
省エネ法	エネルギーの使用の合理化に関する法律	3/3	遵守
グリーン購入法	環境負荷の低減に資する物品・役務(環境物品等)の調達を推進する法律	3/3	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の製造から廃棄までライフスタイル全般に対して包括的な対策を実施する法律	3/3	遵守
水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)	水銀による環境に汚染を防止するための法律	3/3	遵守

■ 法規制遵守についての評価

法規制について、適正に守られていました。

2) 監視及び測定項目			
環境保全項目	監視・測定項目	実施日	監視測定結果 ()は規制値
大気汚染防止法	ダイオキシン測定	2/4 (測定日)	排出ガス0.039ng-TEQ/m ³ N (10ng-TEQ/m ³ N) ばいじん0.044 ng-TEQ/g (3ng-TEQ/g)
騒音防止法	境界線騒音測定	4/18	測定値 63,63,61,69,61,63,54,56,68,60,65,62 (昼間 75dB)
振動防止法	境界線振動測定	4/18	測定値 49,51,55,49,50,53,46,46,49,47,51,55 (昼間 70dB)
廃棄物処理法	・処理実績報告 ・管理票交付状況報告	6/23提出	期限内提出遵守
施設維持管理	積替保管維持管理報告書	3/6、6/2、 9/1、12/4	年4回報告遵守
省エネ法	エネルギー使用状況届出	6/19	期限内提出遵守

■ 監視及び測定についての評価

監視及び測定項目について、決められた時期に、届出は期限内にすることができました。
結果についても、規制を遵守できていました。

3) 違反、訴訟などについて

1) の法規制遵守事項に基づき確認しておりますが、創立以来過去23年間、違反について関係機関から特に指摘は無く、また訴訟もありません。

10. 代表者の見直しと評価

全体の運用状況等の情報の概要	
情報の項目	結果等
環境負荷及び取組チェック	<ul style="list-style-type: none"> どの項目も環境負荷低減目標達成に向けての取り組み、実績は評価できる。
環境関連法規の改定情報 環境負荷の監視・測定の結果 遵守状況のチェック結果	<ul style="list-style-type: none"> 前回以降、特に関係する法の制定、改廃はない。詳細は「環境関連法規制等の確認一覧表」による。 監視・測定結果について特に問題はない。詳細は「遵守監視測定項目」による。 廃掃法及びP R T R法等で要求されている報告書類は要求期限内に提出済。そのほか、遵守状況をチェックし適法であることを確認した。詳細は「環境関連法令等届出一覧」による。
外部からの苦情・要望とその処置結果	<ul style="list-style-type: none"> 外部からの苦情・要望は特になかった。詳細は「環境コミュニケーション記録」による。
環境教育・訓練の状況	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況は良く、問題はない。詳細は「環境教育訓練計画」報告による。
環境上の緊急時対応訓練	<ul style="list-style-type: none"> 5/29及び11/20に火災訓練と合わせて実施。特に問題はない。詳細はそれぞれの訓練報告書による。
環境目標達成及び活動結果 ① 環境目標達成状況 ② 全員活動実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況は、予定した計画に対し、未達成項目があった。 詳細は「2023年度環境活動計画記録表」による。 全員活動実施状況は良く、問題はない。
問題点の是正・予防の結果	<ul style="list-style-type: none"> 8月に1件の是正・改善を行った。詳細は「是正処置及び予防処置票」による。
環境管理文書	<ul style="list-style-type: none"> 特に改訂した文書類はない。詳細は「文書・記録一覧表」による。
内部環境監査	<ul style="list-style-type: none"> 特に指摘事項もなく、問題はない。
その他（新規プロジェクト等含む）	<ul style="list-style-type: none"> 毎月実施しているボランティア外部清掃活動は、初めて23年目に入る。今後も継続する。
代表者の見直しの結果	
全体についての評価 今後のための指示事項	<ul style="list-style-type: none"> 目標を掲げて全員で努力してきたが、未達成項目が3件あった。 努力していることが報われるような目標及び目標値になるように考えること。
環境方針	変更の必要はない。
環境目標	3件の未達成があり、変更することが必要。
環境活動計画	当社にとってできる計画項目であり、計画の変更の必要はない。
実施体制	現状の体制で問題なく、変更の必要はなし。
環境経営システム	現状の組織で運営することで、変更の必要はない。

(2024.2.26 代表取締役 齋藤睦美)

11. フライトワンの環境関連活動

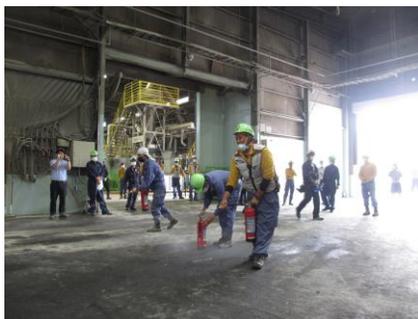
実施月	内 容	結 果
2 月	省エネルギー月間 EA21・2022年度評価報告 EA21・2023年度活動計画	環境管理委員会メンバーにより、電力の効率・節約利用、設備機器の適正管理、上水の節約利用、エコドライブについてチェックを行いました。 2022年度の活動についての報告と、2023年度の活動内容について事務局より説明しました。
3 月	5S推進月間	安全衛生協議会メンバーでパトロールを行い、整理・清掃・整頓をポイントに、きめ細かなチェックを行いました。
4 月	健康管理月間	定期健康診断(受診率100%)を実施しました。 (4月8日)
5 月	ひとくふう提案月間 防災訓練	マンネリ化を打破するため、強調月間として活動しました。 消防設備専門業者の指導のもと、新入社員を中心に、水消火器による消火器使用訓練及び油流出事故訓練を実施しました。(5月29日)
6 月	環境月間 交通事故防止月間 全国安全週間準備月間	環境月間の取組説明。 交通事故ゼロ宣言、交通安全標語の募集、運転記録証明書を活用し社員の意識を高めました。 安全の小冊子配布、安全週間ポスターと、のぼり旗を掲示し、安全週間ポスターの募集を行いました。
7 月	全国安全週間	安全衛生協議会メンバーによる職場パトロールの実施と安全週間ポスターの表彰を行いました。
8 月	熱中症予防月間	熱中症対策として、アイス帽、アイスノン、クールガード、スポーツ飲料、塩飴、アイスクリーム、牛乳等を用意し、熱中症予防を行いました。
9 月	全国労働衛生週間準備月間	健康の小冊子配布、労働衛生週間ポスター及びのぼり旗を掲示しました。
10 月	全国労働衛生週間	安全衛生協議会メンバーで職場パトロールを行い、作業環境改善に取り組みました。
11 月	秋の火災予防月間	足利市中央消防署の指導のもと、実際の火災を想定した初期消火、避難、通報訓練を行いました。(11月20日)
12 月	年末年始無災害運動月間	年末年始無災害運動のぼり旗、及び無災害実践ガイドを掲示し、事故ゼロ、怪我ゼロ、危険ゼロを朝礼で唱和しました。 各職場責任者推薦による2023年度の優秀者表彰を行いました。
1 月	年末年始無災害運動月間 2024年度行動目標宣言月間	無災害延労働時間500,000時間達成に向けて全社員より「安全の誓い」が宣言されました。 会社が発展・成長するため、個人挑戦目標「プロフェッショナル宣言」が提出されました。

(1)教育・訓練

1)全社員教育・訓練

消火訓練及び油流出事故訓練

毎年5月は防災訓練の月として、消防設備業者の指導をいただき、新入社員を中心に消火器トレーニングを実施しております。



フォークリフト安全教育

今年は外部講師を招聘してフォークリフトによる労働災害防止と、近年起こった事故事例に対する対策、自身のフォークリフト運転技術を見直す機会として行いました。



火災訓練

秋の全国火災予防運動「11月9日～11月15日」

令和5年度スローガン「**火を消して 不安を消して つなぐ未来**」

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、毎年119番の日である11月9日から毎年実施されております。

火災発見



通報



消火栓放水！



避難！



消火器訓練



消防指令長より総評



当社は、消防設備点検業者の指導で消火器取扱い訓練を毎年5月に実施しています。また平成17年からは足利市中央消防署の指導で「初期消火・避難・通報」訓練も行っております。

2) 特定教育(環境関連技術資格)

資格名称	人数	2023年度 取得人数
破碎処理施設技術管理者	6	0
車両系建設機械講習	52	3
フォークリフト講習	88	3
小型移動式クレーン講習	32	0
ホイストクレーン講習	20	0
玉掛技能講習	51	0
乙種第4類危険物取扱者	5	0
丙種危険物取扱者	5	0
ガス溶接技能講習	21	0
アーク溶接特別教育講習	18	0
粉じん作業特別教育	4	0
研削砥石特別講習	7	0
高所作業車運転技能講習	19	2
防火管理者講習	13	0
整備管理者講習	2	0
安全運転管理者(正)	2	0
安全運転管理者(副)	3	0
運行管理者講習	3	0

資格名称	人数	2023年度 取得人数
衛生管理者(第一種)	6	0
安全管理者講習	4	0
安全衛生推進者講習	3	0
職長教育講習	24	3
有機溶剤作業主任者	6	0
普通救命講習(1級・2級)	5	3
危険予知訓練講習	2	0
石綿使用建築物等解体等 特別教育	2	0
放射性物質汚染廃棄物の 処理に関する講習	1	0
大気四種公害防止管理者	1	0
エネルギー管理員	4	0
環境社会検定(eco検定)	1	0
第一種電気工事士	1	0
第二種電気工事士	3	0
二級ボイラー技士	2	0
機械保全2級	1	0

2) 特定教育(産業廃棄物の許可申請及び実務に関する講習)

当社では、産業廃棄物の専門家の育成という目的から、社員に対しても産業廃棄物(業)の許可申請に関する講習の受講を実施しています。

資格名称	人数	2023年度修了者
産業廃棄物収集・運搬課程	65	0
産業廃棄物処分課程	17	1
産業廃棄物処理委託契約実務講習	4	0
産業廃棄物車両運転実務講習	2	0
一般廃棄物収集・運搬処分業者課程	1	0

実施者：(財)日本産業廃棄物処理振興センター

(2)環境コミュニケーション

当社では、2023年度も環境関連企業として環境に関連する様々な活動を実施してきました。特に「環境コミュニケーション」での活動は、環境関連企業としての外部への訴求と内部におけるモチベーションアップの為に、社員からの提案も取り入れながら実施しています。特にボランティア清掃については、設立当初より実施している当社の伝統行事となっています。

ボランティア清掃

■取り組みの結果と評価:毎月第一土曜日にボランティア清掃を行っておりますが、ゴミ拾いをしていて感じたことは歩道にも、車道にも、空缶・空ペットボトル、車からのポイ捨てと思われるタバコの吸い殻が多く大変残念に思います。そんな中、最近では当社の影響もあるのか、近隣企業様がゴミ拾いをしている姿も目につくようになりました。また歩いていると通りすがりの方から、「ご苦労様」と声を掛けられることもあり、小さなことですがやりがいを感じております。



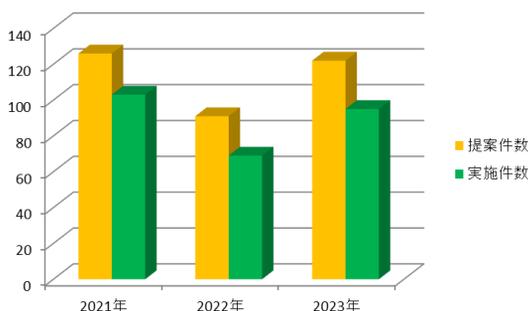
2023年度延参加人数 98名 ゴミ回収量 130kg

2023年度ボランティア清掃実施地域			
2月	自社～R293～富士見公園	8月	自社～R293～富士見公園
3月	自社～R293～富士見公園	9月	自社～R293～富士見公園
4月	自社～R293～富士見公園	10月	自社～R293～富士見公園
5月	自社～R293～富士見公園	11月	自社～R293～富士見公園
6月	自社～R293～富士見公園	12月	自社～R293～富士見公園
7月	自社～R293～富士見公園	2024/1月	自社～R293～富士見公園

改善提案／表彰制度

■取り組みの結果と評価:2023年度は、提案件数が122件と前年と比較すると大幅に増加しました。内容を分析すると、安全向上が41件、生産性向上が20件と工場内での提案が大半を占めております。今後は、実施率を90%以上に、全社員からの提案提出を目指していきます。

改善提案の推移



【2023年度表彰実績】

- ・永年勤続者表彰
 - ・改善提案表彰
 - ・各種資格・修了証授与
 - ・模範社員表彰
 - ・交通安全標語表彰
 - ・安全週間ポスター表彰、他
- 12月最終日に1年間を振り返り、会社の成長、発展に貢献された社員の表彰も行っております。

5S(整理・清掃・整頓・清潔・しつけ)運動

■取り組みの結果と評価:「定物、定位置、直角、平行、壁際すっきり」、安全衛生協議会メンバーによるパトロール、なんでも提案による5S改善提案など、産業廃棄物業界のモデル事業所に向け、安全・衛生を始めとして、働きやすい作業環境職場を目指し活動しています。その結果、2023年度も多くの改善ができました。

【F2工場掃除用具置き場】

- ①掃除用具は各作業場毎に整理・整頓して設置してあります。
整理: 要るものと要らないものに分けて要らないものは捨てる
清掃: 常にきれいにしておくこと
整頓: 必要なものがいつでも直ぐにとり出せること

【F3工場コンテナ置き場】

- ②お客様現場から搬入された処理前の廃棄物は、先入れ、先出し方で処理できるように、整頓してあります。



【挨拶運動】

- ③工場見学で訪問されたお客様に、感謝の気持ちを込めて挨拶をさせて頂いております。

安全衛生協議会

■取り組みの結果と評価:毎月末に、社内各部署からメンバーを招集し、不安全行動、不安全状態の摘出パトロールを実施し、改善に向けて会議を開催しました。また、全社員にパトロールの結果を周知するため、全体会議で指摘事項を発表し無災害対策に取り組んでおります。



安全衛生協議会メンバー
によるパトロール



ドライバー会議

1年を振り返って

毎月第一土曜日は、全社員参加の全体会議が開催される。この中で経営者より「元気に働けるのは家族の手助けがあるからです。家族に感謝し、楽しいひと時に使用して下さい。」と、その月に誕生日を迎える人に誕生日お祝い金が支給されます。給与所得として、しっかり課税されます。

まよび通信

ま さ ご

発行：管理部
不定期刊
連絡先
0284-40-3090

今後10年の
天気予報

足利 

廃棄物なら
フライトワン

工場見学
随時受付中

今年の1句

危険です

ハンドフル・スマホの
二刀流
(フライトワン交通安全標語最優秀賞)

4月 定期健康診断の実施 待ってました 桜の季節 バイバイ 生活習慣病

例年4月第二土曜日は全社員定期健康診断日に決められております。お休みでも健康で働きたい。そのためにも百分の健康は自分で守ろうと受診率100%に向けて健康診断を行いました。

6・7月 全国安全週間ポスター



全国安全週間の準備期間である6月は、労働災害を防止するため、職場での安全に対する意識を高める事を目的として、安全ポスターの募集をしています。

今年7月8日の投票があり、社員の投票で上記の作品が、優秀賞(最優秀賞)でした。今年もポスターに、安全を第一の仕事としていきます。

6月・10月 ゴルフコンペ開催

今年2回目となる恒例の24回目を数える恒例のゴルフコンペが開催されました。今年は、春(立川)・秋(桑原)が優勝しました。来年はドライバー・設備管理部社員の奮闘に期待しましょう。



11月 社員旅行



思い出スナップ写真
フライトワン賞



今年の大阪に家族も参加した。泊3日196名が参加した。新幹線でしたが、両貸切でヘッドカバーがF1マークでした。お弁当は叙々苑の焼肉弁当が出た。驚きました。初日にウエルカムパーティーが開かれ、子供達にはUSJのキャラクターグッズが配られました。USJや吉本新喜劇で楽しみました。とても、3日間でした。

編集後記

フライトワンは、地球にやさしい廃棄物処理と再資源化で、快適で健康な社会づくりに貢献したいと考えております。また、この環境活動レポートを環境に関する情報の提供だけでなく、当社との取引先、地域の方々とのコミュニケーションツールとして考えております。これからも廃棄物問題に貢献できる企業を目指し、皆様のお役に立てるよう活動していきます。



地球から
借りたものは
やさしいカタチで
返したい



廃棄物(ゴミ)から燃料をつくります

F1 株式会社 **フライトワン**

栃木県足利市真砂町41番地

TEL:0284-40-3090 FAX:0284-40-3321

URL:<http://www.flight-one.co.jp>



ホームページ QRコード

株式会社フライトワン
環境活動レポート2023

発行 2024年11月22日

株式会社フライトワン・環境管理委員会事務局 編

栃木県足利市真砂町41番地

TEL 0284-40-3090

FAX 0284-40-3321

URL <http://www.flight-one.co.jp>